

# 高島市におけるUPZから避難先施設までの主な経路

- 全面緊急事態までに、滋賀県及び高島市は、災害対策本部を設置。
- 高島市は、職員配置表や職員の行動マニュアル等に基づき、対象となる各地区に職員を配置。
- 滋賀県内のバス会社は、緊急時における輸送力確保の協力協定に基づき、滋賀県は高島市の要請に備えて、バスの派遣準備を開始。
- **地区毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートにより避難を実施。**

## 高島市内の避難経路

今津地域 国道303号⇒避難中継所⇒国道161号⇒今津中学校

朽木地域（一般県道麻生古屋梅ノ木線⇒）主要地方道小浜朽木高島線⇒国道367号⇒避難中継所⇒グリーンパーク思い出の森、朽木中学校

## 広域避難経路

今津地域⇒国道303号⇒避難中継所（今津総合運動公園）⇒国道161号⇒国道161バイパス⇒名神高速道路（⇒京阪国道）⇒高槻市、枚方市

朽木地域⇒（一般県道麻生古屋梅ノ木線⇒）主要地方道小浜朽木高島線⇒国道367号⇒避難中継所（朽木中学校）⇒主要地方道小浜朽木高島線⇒国道161号⇒国道161バイパス⇒名神高速道路⇒第二京阪道路⇒大阪市

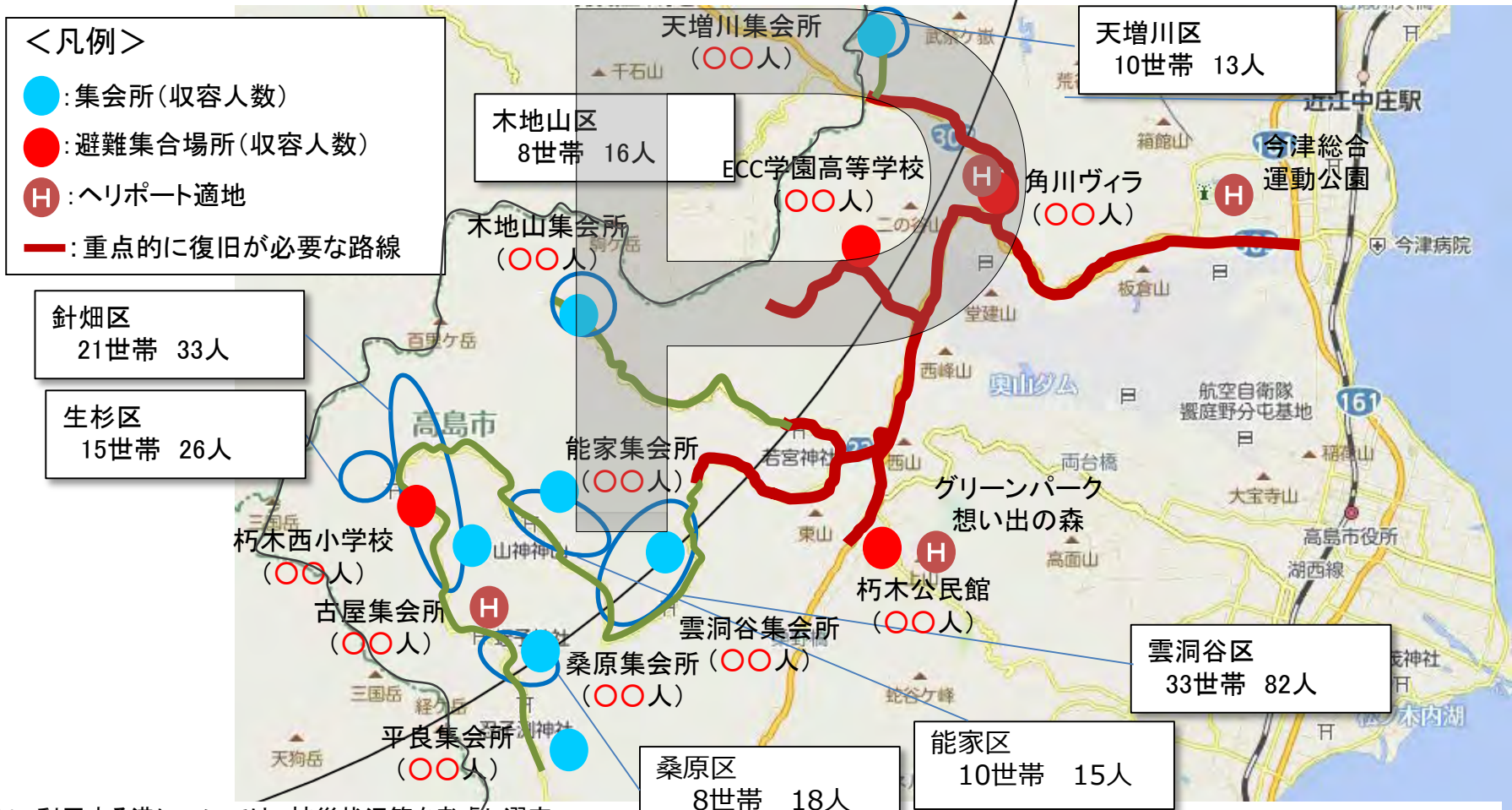
広域避難先  
（大阪市・枚方市・高槻市）



【凡例】  
● 避難中継所(避難退域時検査場所)候補地

# 滋賀県における孤立した場合の対応 (高島市西部)

- UPZ内では全面緊急事態となった場合、屋内退避を行う。その後、一時移転等の指示が出た場合には、避難を実施。
- 高島市内のUPZは山地であることから、複合災害の発生等により孤立するおそれが高く、避難にあたり道路が使用できないような場合には、ヘリコプターや船舶による避難を行う。
- 避難体制が整うまで屋内退避を継続し、避難体制が十分に整った段階で一時移転等を実施。
- 家屋で屋内退避ができない場合は、避難集合場所または集会所(避難集合場所等)で屋内退避を行う。避難集合場所等には、屋内退避が長期化したときの生活用品等の備蓄を行う。



※1 利用する港については、被災状況等を考慮し選定

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合や道路啓開ができない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

# UPZ内市町の一時移転等における輸送能力の確保【福井県】

- UPZ内で一時移転等の対象となる区域は、UPZ内全域ではなく、その一部に留まることが想定される。今回は、福井県におけるUPZ内全域が一時移転等を実施すると仮定した場合の輸送能力を確保する。
- 必要となる輸送能力は、想定対象人数約3,724人、必要車両数85台に対して、福井県内バス会社の保有車両数は882台と必要台数を確保。
- なお、県内の輸送手段では不足する場合、関西広域連合等関係機関が関西圏域の府県及び隣接府県等の関係団体から輸送手段を調達する(詳細については81頁参照)。

		合計	おおい町	小浜市	高浜町	若狭町	美浜町	備考
対象人数 (想定)	UPZ内人口	74,478	7,737	30,095	10,731	15,718	10,197	H28.1.1時点
	バスによる一時移転等が必要となる住民	3,724	387	1,505	537	786	510	・UPZ内人口×0.05 ・住民の5%がバスによる一時移転等が必要となると想定※1
必要車両台数		85	9	34	12	18	12	バス1台当り45人程度の乗車を想定

福井県内のバス会社保有車両	<b>882</b>	福井県内のバス会社から必要な輸送手段を調達
---------------	------------	-----------------------

関西圏域及び隣接府県保有台数	<b>14,165</b>	関西広域連合等関係機関が関係団体から輸送手段を調達
----------------	---------------	---------------------------

※1 福井県避難時間推計シミュレーションに基づく想定

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- UPZ内で一時移転等の対象となる区域は、UPZ内全域ではなく、その一部に留まることが想定される。今回は、京都府におけるUPZ内全域が一時移転等を実施すると仮定した場合の輸送能力を確保する。
- 必要となる輸送能力は、想定対象人数約86,902人、必要車両数1,450台に対して、京都府内バス会社の保有車両数は2,261台と必要台数を確保。
- なお、府内の輸送手段では不足する場合、関西広域連合等関係機関が関西圏域の府県及び隣接府県等の関係団体から輸送手段を調達する(詳細については81頁参照)。

		合計	京都市	舞鶴市	綾部市	南丹市	京丹波町	備考
対象人数 (想定)	UPZ内人口	86,902	298	81,177	6,642	3,499	286	H28.1.1時点
	バスによる一時移転等が必要となる住民	65,179	224	60,883	1,232	2,625	215	・UPZ内人口×0.75 ・住民の75%がバスによる一時移転等が必要となると想定※1
必要車両台数		1,450	5	1,353	28	59	5	バス1台当り45人程度の乗車を想定



京都府内のバス会社保有車両	2,261	京都府内のバス会社から必要な輸送手段を調達
関西圏域及び隣接府県保有台数	14,165	関西広域連合等関係機関が関係団体から輸送手段を調達

※1 京都府避難時間推計シミュレーションに基づく想定

※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請